

しゅんすけ新聞

発行日 H25.9.25
発行所 勝部俊輔

体験!! 発見!! デハニ50 ~ デハニ50形体験運転レポート ~

4月6日、ぼくは一畑電車の雲州平田駅で行われているデハニ50形車両の体験運転に参加しました。この企画は、利用客を増やす取り組みとして始まった体験運転が好評だったため、専用線と車庫を新たに作り、平成23年7月から毎週末に行われているものです。4月6日は、①日コースに僕を含めて2人、②マスターコースに2人が参加しました。

①日コース…初めての人の対象
午前は講習 午後は体験運転
マスターコース…2回目以降の人の対象
体験運転のみ

①講義

講義では、運転士の落部さんに電車の仕組みや運転の方法、免許の取り方を教えてもらいました。



落部さん

- ・運転免許の種類は2種ある。
- ・運転のポイントはブレーキのかけ方。



- ・ブレーキシューは新品が8kgなのに使っているうちに4kgくらいになる。

使用後新品のブレーキシュー

落部さんの深イ話
・運転士は命を預かっている仕事
一番大切なのは乗客の安全。
・運転士になりたい気持ちがあれば必ずなれる。夢はあきらめないこと。

②見学

アテンダントの方に案内してもらい、雲州平田駅構内の洗車場や車庫、車検場を見学しました。



昼食のバタ弁



車庫にいた車両

③体験運転

体験運転はデハニ53形を専用線で120m走らせます。まず、マスターコースの方と落部さんの運転を見せてもらいました。どちらもブレーキの衝撃がほとんどなくて、こんなふうに運転できるというなと思いました。



ぼくの番

いよいよ体験!!



運転中 ↑ ↓



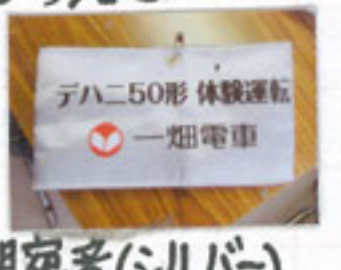
体験運転修了証

- ① 白手袋をして運転席に座り、逆転機を前にしました。
- ② 次に警笛を鳴らし、「出発進行」と言ってマスコン(アクセル)を入れました。マスコンを入れたら、ゆっくりと動き出したのがうれしかったです。
- ③ 時速15kmになったのでマスコンを切って惰性走行をしました。時速15kmでも運転席からは結構速く感じました。
- ④ ブレーキをかける場所にきたのでブレーキをかけていきました。ブレーキのタイミングが難しく、衝撃が大きかったし、停車位置をオーバーしてしまいました。落部さんには初めてにしては上手だったと言ってもらえました。

120mを約30秒で走る体験運転はあ、という間でした。緊張したけどとても楽しい時間でした。

マスターコースの特典…回数を重ねると名札や腕章などがもらえる

クラス名(回数)	エントリークラス(2~4)	ブルーバシス(5~9)	エビバシス(10~29)	シルバーバシス(30~49)	ゴールドバシス(50~99)	マスターバシス(100以上)
名札と腕章の色	白	ブルー	グリーン	シルバー	ゴールド	デハニオレンジ



腕章(シルバー)

インタビュー

一畑電車の方に聞きました。 マスターコースの参加者に聞きました。

- Q 今までどの位の方が体験されましたか
A 約150人(平成25年4月現在)
- Q どんな方が多く体験されますか
A 東京名古屋大阪などの大都市から、大人が多い。
- Q うれしいことは何ですか
A また来たいと言われるとうれしい



- Q どこから来られましたか
A 京都
- Q 何でこれを知りましたか
A 一畑電車からのダイレクトメール
- Q やってみてどうでしたか
A ブレーキが難しい
- Q 一畑電車についてどう思いますか
A 有人改札や運転士と普段からふれあえるところが都会とちがっていい
- Q デハニ50についてどう思いますか
A いっまでも元気でいてほしい

県外から体験に来る人が多くて、島根以外にも一畑電車の好きな人がいることが分かってうれしかったです。

感想

思っていたよりも電車の運転は楽しかったです。特に難しかったのはブレーキで、タイミングがつかめずオーバーランしてしまいました。運転士の方はいつも正確に止めていてすごいなと思いました。運転時間は短いけれど奥が深いので何度でも楽しめると感じました。体験運転をきっかけに島根に来る人も多いため地域の活性化につながっていると感じました。いっまでもこの体験運転が続くといいと思います。

最後に、体験運転の参加者の方、一畑電車の皆様取材に協力していただきありがとうございます。

